取扱説明書

お買い上げ頂きありがとうございます。

Prime Xをお買い上げ頂きありがとうございます。本取扱説明書は製品の取り扱い方（基本機能、モード、マウントオプション）、注意事項を示しています。より詳しい情報およびビデオチュートリアルは、www.ReplayXD.comでご覧ください。

Love the Prime X?...体験をシェアしてください。我々が世界に発信します：

Facebook.com/ReplayXD

Youtube.com/user/TheReplayXD

Twitter.com/ReplayXD

Instagram.com/ReplayXD

REPLAYXD.COM

一般的な注意事項

Replay XDカメラを使用する際は以下のガイドラインを参照してください：

- 箱からカメラを出したらすぐに充電してください。カメラは最大70%充電された状態で梱包されています。
- 水気/湿気のある環境でフロントベゼルまたは背面の保護キャップを開けないでください。
- 鮮明な画像を保つため、レンズを帯電防止加工されたマイクロファイバークロスで拭いてください。
- カメラの最適な使用温度範囲は-20°C～60°C（-4°F～140°F）です。
- PrimeXが使用時や充電中に、熱を帯びることがありますが問題ありません。PrimeXの外装には、ユニット内部の熱を外へと逃がす冷却機能が装備されています。
- 保存されたデータを守るため、メモリカードは必ず電源を切ってから取り出してください。

PRIME Xの防水性について

- PrimeXは、防水ケースを使用しない状態で水深3メートル（10フィート）までの防水機能があります。
- 使用後すぐに塩水、チリ、ホコリを落としてください。
- 極度な水中用途（水深3メートル以上）には、防水ケースPrime X DeepDive 197が必要です。
- カメラはOリングが良好な状態でフロントベゼルと背面の保護キャップがしっかりと締められている場合にのみ、3メートル防水となりますのでご注意ください。

充電用端子をショート（短絡）させないでください
カメラを分解（修理、改造、部品交換含む）しないでください。

すべてをシンプルに

- A 電源 [カメラ/Wi-Fi]
- B 録画 [開始/停止/シャッター]
- C 電源ステータス [青LED、各25%]
- D 録画ステータス [赤LED]
- E 水平（傾き調整用ガイドライン）
- F 垂直（傾き調整用ガイドライン）
- G 内蔵AGCマイク

すぐに使える

Prime Xの初期設定は
高画質1080p 60 fps
録画モードです。

完璧な画像に

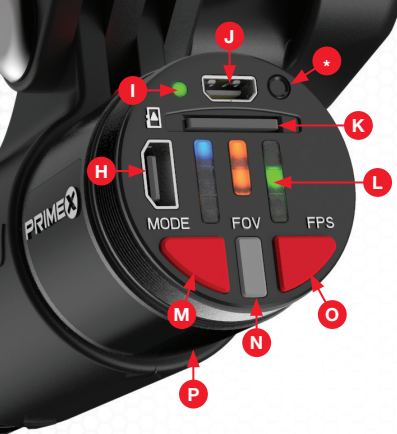
画像の傾きを素早く調整

水平（E）および垂直（F）の傾き調整用ガイドラインを目安に画像を水平に保つことができます。

カメラ概要

- **H** ミニUSB [充電/同期/480ビデオ出力]
- **I** 充電ステータス [緑LED=充電中]
  マイクロSDステータス [赤LED=メモリーカードフル/エラー]
- **J** マイクロHDMI、タイプD [1080p HDビデオ出力]
- **K** microSDXC®対応スロット [最大64GB]
- **L** ビデオ/写真、FOV、およびFPSステータス
- **M** モード：MODE ビデオ解像度および写真。
  -モードボタンを押しながら電源ボタンを押すとマスストレージモードがオンになります。
- **N** 視野 FOV [スーパーワイド、ワイド、ナロー]
  -FOVを長押しすると外部オーディオ装置の接続が可能になります。
- **O** FPS：FPS 毎秒フレーム数を選択。
  -長押しするとLiveViewおよびPlaybackモードがオン/オフになります
- **P** 内蔵バイブレーション、カメラステータス
- ***** マスターリセットボタン（必要時のみ使用してください）

充電

付属のミニUSBケーブルをミニUSBポート **H** へと差し込みます。充電ステータスを示す緑LED **I** が点灯し、充電中であることを示します。バッテリーがフルになり充電が完了すると、緑LEDは消えます。撮影をお楽しみください！

PRIME Xで撮る

Prime Xにある程度慣れてきたら、充電して撮影を始めてみましょう。

1. 背面の保護キャップを外して、マイクロSDカードを差し込みます。
2. Prime Xを充電します。ミニUSBケーブルを高品質な1～2A USB対応の充電器とPrime X のUSBポートへ差し込みます。[7ページを参照]
3. Prime Xの電源をオンにします。電源ボタン A を3秒間*長押し*すると、カメラが3回振動してオンになります。
4. モード、FOV、およびFPSを選択します [8～9ページを参照]
5. 背面の保護キャップを元通りにきちんと締めます。
6. 撮影は簡単です。録画ボタン B を*短押し*するとカメラが3回振動して録画が始まります。
7. 録画を停止するには、録画ボタン B を*長押し*します。カメラが1回振動して録画が止まります。(ファイルの保存に時間がかかる場合があります。)
8. 電源をオフにするには、電源ボタン A を*長押し*します。カメラが1回振動してオフになります。

ヒント：背面のLEDライトは3分経つと消費電力節約のため消えます。ライトを点灯させるにはモード、FOV、または FPS ボタンを押してください。

撮影前にSDカードに十分な空き容量があることを確認してください。Class 10以上のカードをおすすめします。

マイクロSDカードの挿入方法

1. 金属端子面が上になるように持ちます。
2. カードをスロットへ差し込みます。
3. カチッと音がするまで奥までしっかりと差し込みます。

マイクロSDカードを取り出すには

1. カードの端に指先を当ててカメラ内部へと押し込みます。
2. カチッと音がして跳ね返ってきたところをゆっくり引き抜きます。

PRIME Xを充電する

Prime Xは大容量リチウムイオンバッテリーを内臓しており、適切に取り扱われた場合、最大3.5時間*録画が可能です。カメラを充電するには、高品質なUSB充電器とミニUSBケーブルを使用してください。1A～2AのUSB充電器をおすすめします。USB充電器またはRePowerアクセサリーをお探しの場合は、www.replayxd.comもしくは当社提携販売店でご購入ください。

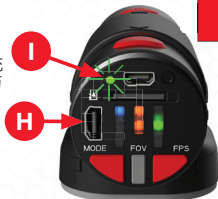
バッテリーを充電する

1. ミニUSBケーブルをPrime X H およびUSB充電器に差し込みます。
2. バッテリー充電中は緑LEDライト I が点灯します。
3. 充電が完了すると、緑LED I は消えます。

バッテリー容量の80%までは急速充電し、その後ゆるやかなトリクル充電に切り替わり100%まで充電します。これによりバッテリーの劣化を防ぎ、安全な充電を維持します。

バッテリーを充電しながらPrime Xで撮影しよう

長時間撮影、録画時間の延長、タイムラプス撮影にはRePowerアクセサリーのフルラインアップをご用意しています。www.replayxd.comもしくは提携販売店でご購入ください。RePower3～6時間バッテリーパックやほぼ無制限に電源を確保できる超頑強なRePowerアダプター等からお選びいただけます。RePowerアダプターは5～40V、1-2A DC電源に対応しています。

*実際の駆動時間は、設定、使用条件、使用環境、無線状況などさまざまな要因により異なります。周囲の温度が極端に低いまたは高いとバッテリー寿命が低下するおそれがあります。バッテリー寿命を最大限に延ばすためには、カメラの最適な使用温度範囲を守って使用及び保管してください。バッテリーの最大容量は通常、時間と使用量とともに減少します。

ビデオモード

ビデオの録画を開始する前に、好みの解像度 [モード]
、FOV、フレームレート [FPS] に設定します。

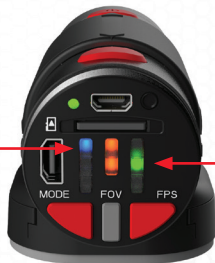
1. 録画ボタンを*短押し*してビデオの録画を始めます。
2. *録画ボタンを長押しすると止まります。*

Prime Xは、以下のモードでシネマ画質のHDビデオを
録画できます:

16:9ワイドスクリーン [初期設定]
- 1080p [青LED] 60、30 fps
- 720p [赤LED] 120、60、30 fps

4:3標準 [Replay XDアプリから利用可能]
- 1200p [青LED] 60、30 fps
- 960p [赤LED] 60、30 fps
- 480p 240 [LEDなし] 120p、60、30 fps

その他のフレームレート
- NTSC 60、30 fps [初期設定]
- PAL 50、25 fps [Replay XDアプリから利用可能]
- Cine 48、24 fps [Replay XDアプリから利用可能]

撮影前にSDカードに十分な空き容量があることを確認してください。Class10以上のカードをお薦めします。

FOVビデオ/写真	FOV LED
スーパーワイド140º/16MP	オレンジ [x2]
ワイド* 116º/14MP	オレンジ [x1]
ナロー* 70º/12MP	LEDなし

*一部のモード限定

間隔設定	**FPS LED**
手動シャッター	**LED**なし
15秒	青
5秒	緑
3秒	赤
30秒	青、緑、赤すべて

写真モード

写真の撮影を開始する前に、カメラを写真モード [黄LED]に設定して、[FPS]をマニュアルシャッターまたはタイムラプスに設定します。

1. 録画/シャッターボタンを*短押し*して、写真を撮影またはタイムラプスの撮影をスタートします。
2. 録画/シャッターボタンを*長押し*するとタイムラプスの撮影を停止します。

Prime Xは、マニュアルシャッターもしくはタイムラプスモードを選べます。タイムラプス撮影では録画ボタンを押すと、設定した一定の間隔で連続して写真を撮影します。

- マニュアルシャッター [初期設定]
- タイムラプス撮影 3、5、15、30秒間隔
- 間隔時間の自由設定はReplay XDアプリから利用可能

その他の写真解像度

- 写真モードでは、FOVボタンを押して16、14、または12MPに切替えます

16MP [オレンジLED x2]、14MP [オレンジLED x1]、12MP [LEDなし]

App Store®およびGoogle Play®からダウンロードできるReplay XDアプリを利用しスマートフォンやタブレットから、Prime Xをコントロールできます。

Wi-Fiに接続しREPLAY XDアプリを起動する

スマートフォンやタブレットからReplay XDアプリでPrime Xをコントロールできます。App Store®またはGoogle Play®からReplay XDアプリを検索してインストールしてください。

カメラ起動時とWi-Fi 通信機能を同時にオンにする

1. 電源ボタンⒶを*長押し*します。本体が3回振動し、停止した後にWi-FiがONになったことを知らせる振動がもう一度あります。

起動済みのカメラのWi-Fi 通信機能をオンにする

1. カメラをすでに起動している場合、電源ボタンⒶを*短押し*し、短い振動が一度あるまで待ちます。
2. Wi-Fi起動中は青LEDが高速点滅します。Wi-Fiの接続が完了するとLEDがゆっくりと点滅して正常に動作していることを示します。Wi-Fi の起動には30秒ほどかかる場合があります。

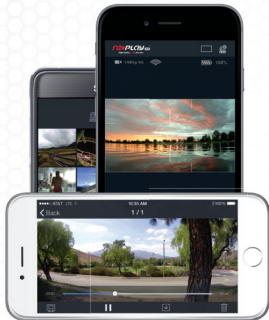
スマートフォンやタブレットをPrimeXに接続する

3. スマートフォンやタブレットのWi-Fi設定メニューでPrime Xに接続します。
4. 初期*SSID*「**Prime X-####**」を選択し、パスワードの初期値「**replayxd**」を入力します。
5. Replay XDアプリを開きましょう!アプリからPrime Xカメラ、LiveView、録画、モード変更、アドバンス設定をコントロールできます。

Wi-Fi 通信機能をオフにする

1. カメラの電源を切る、または電源ボタンⒶを*短押し*すると本体が短く1回振動し、青LEDの点滅が止まるとWi-Fiがオフになります。

REPLAY XDアプリ

Prime Xアドバンス設定は、App Store®およびGoogle Play®からダウンロードできるWi-Fiアプリ経由で設定可能です。

Download on the App Store

アドバンス設定ファイル – PRIME-X.TXT

テキストファイルまたはWi-Fiアプリのいずれかから設定の微調整を行います。

- Pro機能を有効化して画像を微調整：
  - ビットレート設定：高、中、低
  - 露出補正
  - 測光：中央部重点、分割、スポット
  - オートホワイトバランス
  - カスタムホワイトバランス
  - コントラスト
  - シャープネス
  - 彩度
  - マイクロフォンオーディオゲイン
  - 日付時刻
- 自動電源開始・停止
- ループ録画
- 録画・HDMI出力コントロール
- PAL/NTSC/シネマ
- その他

ヒント：1台もしくは複数台のカメラの設定はアドバンス設定ファイルを使って手動で行えます。プロダクション環境または複数台のカメラでの撮影等に最適です。以下をご参照ください。
www.ReplayXD.com/Prime-X-Advanced/

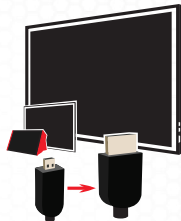
LIVEVIEWでストリーミング(ライブ配信)する

Prime XカメラのHDMI ポート経由で定評あるLiveView機能をご利用ください。TV、ReView Field Monitor、配信機器に接続でき、フルHD(1080p60)でライブストリーミングが可能です。

1. マイクロSDカードが完全に挿入され、録画準備ができていることを確認します。
2. Prime X Jと HDMI互換機器をマイクロHDMI [タイプD]ケーブルで接続します。
3. 正しい接続がされていることを確認してHDMI互換機器の電源を入れます。
4. Prime Xカメラの電源を入れます。
5. Prime XがフルHD 映像をHDMI互換機器に出力します。

オプション:LiveView中に設定、解像度、FOV、フレームレートをUI画面アイコンを切替えながら確認できます。アイコンが現れるまでFPSボタン O を*長押し*します。FPSボタン O を再度*長押しすると*アイコンを消せます。

注意:Prime X AVキットを使ったコンポジットビデオ接続も手順は同じです。

480pのFPV無線ストリーミング、低解像度のモニターや旧式のTVへの出力に使えます。

上級者向けヒント:LiveView機能で、高画質HDビデオをHDMI入力端子付機器もしくは、映像をワイヤレス伝送するトランスミッターを通じライブ配信をしながら、配信中の映像をカメラ本体のClass10 マイクロSDカードに同時に記録してバックアップをとることもできます。

ビデオをTVでプレイバック(再生)する

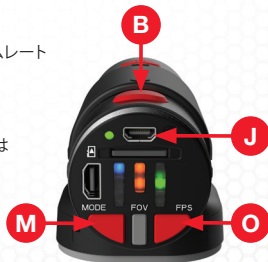
最高のアドベンチャー体験や次作映画のシーンの録画が終わったら、HDMI対応型TVやモニターに接続するだけで簡単にPrime Xからビデオ/写真をプレイバックできます。

1. マイクロSDカードが完全に挿入されていること、録画済であることを確認します。
2. 正しい接続がされていることを確認してTV/ モニターの電源を入れます。 J
3. Prime Xカメラの電源を入れます。
4. Prime X (J) とTV/モニターをマイクロHDMI [タイプD]ケーブルで接続します。
5. TV/モニター上にビデオ/写真のサムネイル一覧が表示されます。
6. モードボタン M を繰り返し*短押しして*、再生/表示したいサムネイル画像まで移動します。
7. 録画ボタン M を*短押し*すると、ビデオを再生/停止、または写真を表示します。

B

オプショナル:Video PlayBack中に設定、解像度、FOV、フレームレートをUI画面アイコンを切替えながら確認できます。
アイコンが現れるまでFPSボタン O を*長押し*します。
FPSボタン O を再度*長押しすると*アイコンを消せます。

注意:Prime X AVキットを使ったコンポジットビデオ接続も手順は同じです。

ヒント:Video PlayBlack機能を使えば、長時間ビデオ撮影中に映像を確認したり、アドベンチャー映像をすぐに友人や家族に見せることができます。

ファイルをダウンロードする

Prime X のUSBポートからダウンロードする

1. ミニUSBケーブルをPrime XとPC/MacUSBのポートに差し込みます。
2. マイクロSDカードが完全に挿入されていること、録画済であることを確認します。
3. モードボタンを押しながらPrime Xの電源を入れます。
4. PC/Mac上にPrime XがUSB大容量記憶装置として認識されます。マイクロSDカードに作成されたDCIMフォルダから、ビデオファイルをダウンロードします（終了したら、必ずMac/PCから「デバイスの取り外し」をしてください。）
5. ファイルをコンピュータまたは外付けハードディスクにコピーします。

注意：USB経由でマイクロSDカード内の映像を再生するとコマ落ちが発生する場合があります。最初にファイルをPC/Macにダウンロードしてください。

SDカードからダウンロードする

Prime XからマイクロSDカードを取出し、付属のSDカードアダプターをSDHC/SDXC互換のカードリーダーに接続し、ファイルをPC/Macに転送します。

ファイルを削除する

1. 削除したいファイルやフォルダーをごみ箱（PC）またはゴミ箱（Mac）へ移動させます。
2. Macの場合：「Finder」メニューから「ゴミ箱を空にする」を選択します。

注意：ファイルまたはフォルダをゴミ箱に移動するだけではSDカードからファイルは削除されません。削除するには「ゴミ箱を空にする」を選択しなければなりません。

SDメモリーカード＆フォーマット方法

Prime Xカメラは下記マイクロSDカードに対応しています。

- マイクロSDHC：4GB～32GB
- マイクロSDXC：64GB

安心してお使いいただくため、Class10以上のデータ転送速度を持った信頼できるメーカーのマイクロSDカードのご使用をおすすめします。

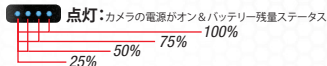
マイクロSDカードの取扱いにはご注意ください。水などの液体、ほこり、破損、静電気を避けてください。SDカードのメーカーによる使用ガイドラインおよび動作温度範囲を確認しその範囲内でお使いください。

ヒント：新品、または他のカメラやコンピューターで使用していたマイクロSDカードを使う場合は、Prime Xカメラでフォーマットしてからお使いください。フォーマットすると保護されているデータを含め、マイクロSDカードに記録されているすべてのデータが消滅します。必要なデータはあらかじめフォーマット前にコンピューターや外付けハードディスクに保存してください。

データの読み込みや書き込みが正しく行われるようにマイクロSDカードのフォーマット（初期化）を録画前に行ってください。

1. マイクロSDカードが完全に挿入され、ファイルがダウンロード済であることを確認します。
2. Prime Xカメラの電源を入れます。
3. モードボタンとFPSボタンを一緒に10秒間押し続けます。MODE + FPS
4. マイクロSDカードのフォーマット中は赤LEDライト I が点灯します。
5. フォーマットが完了すると赤LED I は消え、すべてのファイルおよびフォルダが削除されます。これで録画の準備ができました。

ユーザーインターフェース - 上部LEDライト

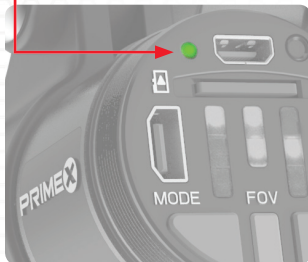
Prime Xの使い方はとてもシンプルです。LEDライト表示とバイブレーション機能により、作動状況が分かります。

ユーザーインターフェース - 背面LED/バイブレーションマップ

LEDライト - カメラ背面

ライトなし:カメラフル充電、または USB電源なし

点灯:カメラ充電中

点灯:SDカード空き容量なし

点滅:SDカード未挿入、またはSDカード読取りエラー

作動状況別バイブレーションパターン

電源ボタンを*長押し*:カメラ起動(オン)
長い振動が3回

電源ボタンを*長押し*:カメラ終了(オフ)
長い振動が1回

電源ボタンを*長押し*:カメラとWi-Fiを同時に起動
長い振動が3回の後に短い振動が1回

電源ボタンを*短押し*:カメラ起動後、Wi-Fi を起動
短い振動が1回

電源ボタンを*短押し*:Wi-Fi終了(オフ)
短い振動が1回

録画ボタンを*短押し*:カメラ録画を開始
長い振動が3回

録画ボタンを*長押し*:カメラ録画を停止
長い振動が1回

ユニバーサル スナップトレー（ベースマウント）

ReplayXDのスナップトレーは、滑りやすい表面にもしっかりとカメラを固定する強力な粘着式ベースマウントです。プッシュタブを使ってトレーへスナップ式でマウントの取付け・取外しができます。これにより、カメラの取付け・取外しや他のスナップトレーへの取り付けが容易です。

図1

1. タブを下向きに押し続ける
2. カメラを握り、スナップトレーベースからスライドさせる

図2

タブがスナップトレー前面から見えなくなったら、カメラをスライドさせ完全に取出す

重要

粘着式マウントを取り付ける前に、取り付け箇所の汚れを消毒用アルコールを使ってきれいにし、水分が残らないようふき取ります。VHB両面テープ付のスナップトレーを取り付け箇所に貼り付けます。接着剤が取り付け箇所に固着するよう、60秒間押し続けます。
接着強度は時間とともに増します。常温の室内の場合、接着強度が90%に達するまで少なくとも24時間は置いてからお使いください。100%の接着強度に達するのは72時間後です。

同梱されているマウント

箱から出してすぐに100万を超えるマウントポジションを選ぶことができるカメラを提供するメーカーは、Replay XDだけです。Prime Xは、そのコンパクトなサイズと円筒形の形状により、ほとんどどこにでも取り付けが可能です。標準で2種類のマウントが同梱されていますので、すぐに録画を開始できます。大きくなった新しいマウントのロックタブによりカメラをスナップトレーから取出しやすくなりました。

- 最小サイズ薄型マウント
- レンズ回転範囲 360º

ローボーイマウント

最小サイズ薄型マウントで、レンズ（カメラ本体）を360º回転できます。低く、目立たないよう設計されています。このマウントは、スナップトレーの全ラインナップと一緒に使えます。

チルトマウント

ロックスクリューにより前後に傾斜させることができます。レンズ（カメラ本体）を360º回転できますので、これまで以上に様々なアングルで撮影が可能です。

ハイブリッドマウント オプショナルアクセサリー

プロマウント オプショナルアクセサリー

プロサクションカップマウント

プロシャーシーマウント

プロピカティニー
レールマウント

プロトライポッドマウント

プロサクションカップ
ミニクランプ

プロベイビーピン
5/8インチクランプ

プロカーブマウント

プロフラット
マウント

プロスケートボード
マウント

プロカメラクランプ

交換用ハードウェア

プロフラットマウント用
3M VHB（5枚セット）

パワーサプライ（電力供給） オプショナルアクセサリー

RePower 80MM
USB、シガーソケット、バッテリーパック経由で電力供給

RePower 225 MM
電力供給とマイクライン入力が可能

RePower 225 MM RCA
電力供給、コンポジットビデオ出力とマイクライン入力が可能

RePower 225 MM HDMI
電力供給、HDMI出力とマイクライン入力が可能

USBウォールアダプターワールド キット
USA、UK、ヨーロッパ
オーストラリア、
アジア圏のコンセントで使用可。Relay XD の
すべてのカメラに対応。

RePower 4400バッテリーパック
撮影時間を6時間＋α延長

RePower 2200バッテリーパック
撮影時間を 3 時間＋α延長

Replay XD RePower（リパワー）バッテリーアダプターは長時間撮影したいイベントやアクティビティ等でカメラへ一定の電力供給をしたい場合に最適です。大容量のマイクロSDカードとRePowerバッテリーアダプターを併用すれば、長時間のビデオ撮影やタイムラプス写真撮影が可能です。

レンズ関連/オーディオ/ディスプレイ オプショナルアクセサリー

レンズカバーキット（5セット入り）
汚れ、埃、傷等からレンズを保護

レンズベゼルキット

ProLens37mmアダプター
37mmNDフィルターを追加できます

DeepDive 197 プロキャップ

外部オーディオアダプター
Pro用3.5mmライン入力

Replay XD マイクキット

ウィンドブレーカー
風切り音防止シール

Replay XDアプリ

ReView HDMIフィールドモニター

Replay XD Prime Xは、MP4形式の動画ファイルで録画＆保存を行います。この動画ファイルは、PC/Macで利用されるほとんどのメディアプレイヤーと互換性があります。また Adobe Premier、Apple Final Cut、iMovie、Windows Movie Makerなど多くのビデオ編集ソフトウェアと互換性があります。

PC - Windows 7以降

閲覧ソフト：
Windows Media Player、Apple Quicktime、VLC Player

編集ソフト：（例：トリミングや変換）
Apple Quicktime、Adobe Premier Elements

上級編集ソフト：（当社で動作確認済）
Adobe Premier Pro、Sony Vegas 8

MAC - Mac OS X 10.7以降

閲覧ソフト：
Apple Quicktime、VLC Player

編集ソフト：（例：トリミングや変換）
Apple Quicktime、iMovie

上級編集ソフト：（当社で動作確認済）
Apple Final Cut Pro、Adobe Premier Pro、iMovie

コンピューター設定、閲覧・編集ソフトウェアプログラム他、コンピューターに関連したバリエーションは多数存在します。お客様が検討される際に参考となるよう、上記ソフトウェアのリストを作成しました。上記ソフトウェアはほとんどのケースで正しく動作することを確認していますが、お客様のご使用環境によってはご使用いただけない場合もございます。当社はいかなる場合においても、お客様がソフトウェアを使用した結果から生じるいかなる損害について一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。お使いのコンピューターおよびビデオ編集ソフトウェアのユーザーマニュアルを必ず参照して、互換性を確認してください。

よくあるご質問・トラブルシューティングについては、当社ウェブサイト（www.ReplayXD.com）もしくは当社提携販売店のウェブサイトをご覧ください。

REPLAY XD, STABLE IMAGING SOLUTIONS, LLC.（SIS）限定的保証

保証期間と対象範囲

Replay XD, Stable Imaging Solutions, LLC.（SIS）は購入日より1年間、材質・製造上の理由による構造上に欠陥があった場合のみ限定保証を行います。

保証対象外 - 保証期間内であっても次のような場合には保証規定の範囲外となります：

- あらゆる種類の事故による変形、破損、故障、損害。
- 圧力が加わる、極端な温度条件（-20ºC〜60ºCの範囲外）での使用・保管、カメラが対応する深さ以上に深い場所に浸けるなどの仕様条件と異なるまたは仕様条件以上の過酷な使用環境による変形、破損、故障、損害。
  ※本製品は3メートル（10フィート）防水構造ですが、耐圧構造ではありません。衝撃に強い構造ですが、耐衝撃機能（＝ショックプルーフ）はありません。極端な温度環境下では本来の性能を発揮できない場合があります。
- 同梱されているもしくはダウンロードしご覧頂ける製品の取扱説明書に記載された内容に反するお取り扱い、誤操作（誤使用、不適切な設置や装着、製品の悪用、過失などを含む）によって発生した変形、破損、故障、損害。
- 表面的な損傷。
- 当社以外による製品/製品の一部の修理・改造・部品交換等に起因した損傷や破損。

本保証は、工場で割り当てられるシリアル番号が改ざん、除去、または不適切なメンテナンスが原因で識別不可能な場合には適用されません。本保証は、SISもしくは SIS 提携正規代理店が製品を販売したすべての国で有効です。SISは、製品が本保証ガイドラインに当てはまるかを判断する権利を留保します。SISはその自由裁量により、故障の原因を特定後、製品の点検を行った上で欠陥品と判断した製品について修理または交換を行うものとします。返品について：本保証規定に基づく保証を受けるには、本製品が最初に購入された際の日付が記載された領収書等の購入証明書の提示が必要です。また商品返却前にカスタマーサービス（1-805-480-9800）に電話の上、返品承認番号（RMA番号）を取得してください。RMA番号なしの製品の返却は受け付けられませんのでご注意ください。

【保証の制限】適用される法律で禁じられている場合を除き、この製品の商品性または特定の目的への適合性に対する黙示的保証は、この製品に適用される限定保証の期間に制限されます。
【責任の制限】本保証が提供する救済措置（修理または交換）はお客様の唯一かつ排他的な救済とします。SISはこれ以外のいかなる明示的または黙示的な保証の違反による間接的、偶発的、結果的な損害の一切に対して責任を負いません。

REV. 2014.7.3.0

REPLAY XD, STABLE IMAGING SOLUTIONS, LLC.免責事項

Stable Imaging Solutions, LLC（以下「SIS」）の製品であるReplay XDの使用に関わる、または従事するすべての購入者、ユーザー、またいかなる人物や団体も、以下の項目に同意するものとします：

- SISは製品が使用される際に不注意な、および/またはリスクの高い危険な行為やアクティビティを、促進も推奨もしません。
- SISは意図されている用途以外のいかなる使用・誤用に関して、一切の責任を負いません。
- SISは当社製品、また当社製品で撮影された違法の可能性のある映像のいかなる使用・誤用に関して、一切の責任を負いません。
- SISは当社製品を使用した撮影中、撮影試行中、または撮影した映像の編集中に発生したいかなる違法行為に関して一切の責任を負いません。
- SIS製品は、地域、州、連邦、国の法規に適合したアクションスポーツやその他アクティビティの録画を主な目的としています。
- マウント、ストラップ、その他のアクセサリーアイテムを含むSISのカメラアクセサリーは、付属品オプションとして提供され、現状のまま販売されます。アクティビティの種類によってはカメラがずれたり、逆にしっかり固定されていることによってお使いになる人や他の人への危害が発生したり、重傷を負うまたは死亡事故が発生する可能性がありますので、これらのアクセサリーを使ってカメラをヘルメット、人物、その他に取り付けて撮影する場合は細心の注意を払ってご使用ください。
- SISは、SIS製品の使用に関連して、その結果生じた、事故、負傷、損失、損害、死亡、またはその他の請求について一切の責任を負いません。
- 本書で示されているすべての商標および登録商標は、各所有者に帰属します。

Replay XD®、Replay XD Prime X™は、米国カリフォルニア州におけるStable Imaging Solutions, LLC、Replay XDの製品です。

www.ReplayXD.com

REV. 2015.7.3.0

FCC適合性宣言の表示
本機器はFCC規則の第15部に適合しています。使用の際は以下の2つの条件に従うものとします：
(1) 本機器が有害な電波干渉を引き起こすことがないこと。
(2) 本機器が受けたいかなる有害な電波干渉（意図しない動作を引き起こす干渉を含む）を受け入れること。

ラジオおよびテレビの受信障害
本機器は、FCC 規則の第 15 部に基づくクラス B デジタル機器に関する制限に適合していることが確認されています。当該制限は、住宅地に設置された場合に有害な電波干渉が生じないようにするための合理的な対策として意図されたものです。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用するもので、無線周波数エネルギーを放射することがあり、所定の指示に従って設置および使用しないと無線通信に有害な電波干渉を及ぼすおそれがあります。ただし、特定の設置環境において電波干渉が起こらないことが保証されるものではありません。本機器によってラジオまたはテレビの受信障害が生じている場合（本機器の電源のオン/オフを切り替えることで判定可能）は、次のうち 1 つまたは複数の対処法で干渉の解消を試みることをおすすめします：

- 受信アンテナの方向または位置を変える。
- 本機器と受信機を離れたところに置く。
- 本機器と受信機を別々の電気回路のコンセントに接続する。
- 販売店やラジオ/テレビに精通した技術者に相談する。
  FCC 規則第 15 部に準じてクラス B デジタル デバイスの制限内に適合するためには付属のインターフェースケーブルを本機と一緒に使用しなければなりません。

カナダICES-003の表示
本クラス B デジタル機器はカナダの ICES-003 に適合しています。

RoHS
本機器は、欧州連合のROHS指令2002/95/ECおよび、欧州での販売用に他の欧州国で採用されている可能性のある類似の規制に準拠しています。

CE認定